

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2026年 3月 3日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		適切なスペースを確保している	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		マットの色で空間の区切りをしたり、立ち止まると危険な個所には×で印をつけている PECSや視覚支援を取り入れ環境にも配慮している	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		毎日、清掃や消毒を行っている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		パーティションを使用し集中できる空間を作っているとともに、児童の状態に応じてクールダウンができるように静養室も確保している	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7		研修を受け、目標をもって現場にたてるよう意識付けしている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		全スタッフが評価表に目を通しており、必要に応じて改善している	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		毎日振り返りを行い、職員間で共有し改善点がある場合は改善を行い実行している	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7		第三者評価を受けることについて、検討を行う
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		外部研修や社外研修の時間が確保されている また、社外研修後には伝達研修を行っている	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		支援プログラムを作成し、公表している	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		定期的にあセスメントを行い、個々のニーズや課題を職員間で分析し支援計画を作成している	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		計画作成後は職員間で共有し、各自計画内容の確認を定期的に行いながら支援している	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		記録や分析をとりながら状況の確認を行っている	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		児童の状況を職員間で共有し、個々にあった具体的な支援内容を設定している	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		偏りがないよう適宜話し合い立案している	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		前回の内容を職員で振り返り、プログラムの質の向上につなげている	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7		個別活動と集団活動の両方の支援を行っている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		毎朝必ず朝礼を行い確認している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		支援中の児童の様子を共有し、継続点、改善点等を話している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		支援内容を記録し振り返っている	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		定期的にモニタリングを行い、必要に応じて見直しを行っている	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		担当者会議には、児童の状況を一番理解している者が参加している	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		保護者を介して行うことが多いが、保育園等と連絡や会議日程を調整し共有を行う事もある	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		保護者や相談支援員を介して行っている	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		7		今後、検討を行う
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		7		新型コロナウイルス以降、行っていないので今後、検討を行う
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			療育終了後にフィードバックの時間を設け、療育内容や家庭での様子を伺っている
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7			掲示スペースを設け、研修案内等のチラシを貼りだし情報提供をしている	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			契約説明の際に行っており、必要に応じて都度行っている
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			面談の時間を設けている
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7			支援計画について口頭で説明し同意を得ている
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			定期的に行うほか、保護者の希望があれば都度面談時間を設けている

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7		今後、検討を行う
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	迅速に対応できるように努めている	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	HPやSNSを活用し定期的に発信している	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7		新型コロナウイルス以降、行っていないので今後、検討を行う
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	掲示スペースにファイルを設置し、いつでも見れる状況にしている	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	毎月避難訓練を行っている	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	食物アレルギーの有無は契約時に必ず確認を行い、職員間で共有し適切に対応している	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	定期的に訓練、研修を行っている	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	ヒヤリハットが起きた際は、詳細を記録し職員間で共有、事例検討も行っている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	虐待防止のため、各部屋にカメラを設置し研修の機会も与えられている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7			

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名	アイオライトVita					公表日	2026年 3月 3日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係が適切であるか。	7		適切なスペースを確保している。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		マットの色で空間の区切りをしたり、立ち止まると危険な個所には×で印をつけている。PECSや視覚支援を取り入れ環境にも配慮している		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		毎日、清掃や消毒を行っている		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		パーティションを使用し集中できる空間を作っていると同時に、児童の状態に応じてクールダウンができるように静養室も確保している		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		研修を受け、目標をもって現場にたてるよう意識付けしている		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		全スタッフが評価表に目を通しており、必要に応じて改善している		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		毎日振り返りを行い、職員間で共有し改善点がある場合は改善を行い実行している		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7		第三者評価を受けることについて、検討を行う	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		外部研修や社外研修の時間が確保されている。また、社外研修後には伝達研修を行っている		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		支援プログラムを作成し、公表している		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		定期的のアセスメントを行い、個々のニーズや課題を職員間で分析し支援計画を作成している		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		計画作成後は職員間で共有し、各自計画内容の確認を定期的に行いながら支援している		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		記録や分析をとりながら状況の確認を行っている		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		児童の状況を職員間で共有し、個々にあった具体的支援内容を設定している		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		偏りがないよう適宜話し合い立案している		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		前回の内容を職員で振り返り、プログラムの質の向上につなげている		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		個別活動と集団活動の両方の支援を行っている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		毎朝必ず朝礼を行い確認している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		支援中の児童の様子を共有し、継続点、改善点等を話している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		支援内容を記録し振返っている	
	23	定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		定期的にもモニタリングを行い、必要に応じて見直しを行っている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7			
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7			
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		担当者会議には、児童の状況を一番理解している者が参加している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		保護者や相談支援員を介して行っている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7		保護者や相談支援員を介して行っている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	4		今後、検討をおこなう
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	4		新型コロナウイルス以降、行っていないので今後、検討を行う
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	4		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		療育終了後にフィードバックの時間を設け、療育内容や家庭での様子を伺っている	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7		掲示スペースを設け、研修案内等のチラシを貼りだし情報提供をしている		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		契約説明の際に行っており、必要に応じて都度行っている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		面談の時間を設けている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		支援計画について口頭で説明し同意を得ている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		定期的に行うほか、保護者の希望があれば都度面談時間を設けている	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7		今後、検討をおこなう
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	迅速に対応できるように努めている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	HPやSNSを活用し定期的に発信している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7		新型コロナウイルス以降、行えていないので今後、検討を行う
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	掲示スペースにファイルを設置し、いつでも見れる状況にしている	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	毎月避難訓練を行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	食物アレルギーの有無は契約時に必ず確認を行い、職員間で共有し適切に対応している	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	定期的に訓練、研修を行っている	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	ヒヤリハットが起きた際は、詳細を記録し職員間で共有、事例検討もを行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	虐待防止のため、各部屋にカメラを設置し研修の機会も与えられている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7			